

1955（昭和30）年

9月21日 新潟県文化祭美術展(のちの県展)への
書道部門の創設を目指し発足

1957（昭和32）年

6月16日 総会を長岡市悠久山で開催、
田村文吉氏(元郵政大臣)初代会長に就任
第12回新潟県文化祭美術展に書道部門が新設

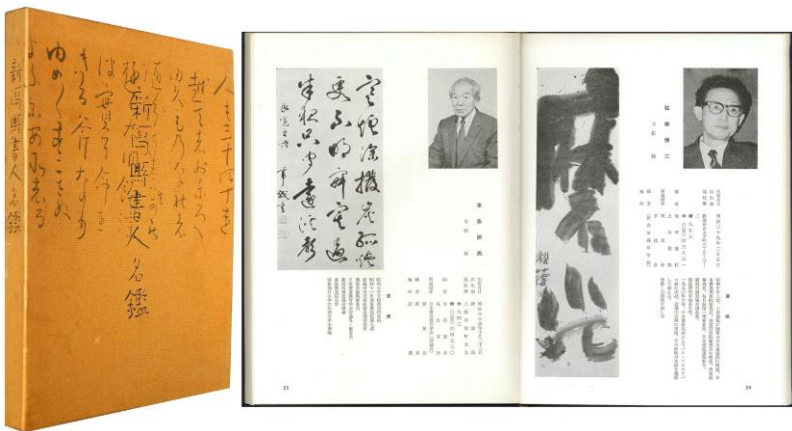
1970（昭和45）年

事務局の宝翰堂が火災に遭い、創立以来の資料が焼失する

発足当初は、県展参加に重点を置いた。よってその活動の大半は県展に関するものであった。出品のための講習会・反省研究会の実施、出品作品評等の配付が行われた。事務局宝翰堂の火災により、その詳細はつかめない。

1972（昭和47）年

県展参加15周年を記念して「新潟県書人名鑑」を刊行



新潟県書人名鑑

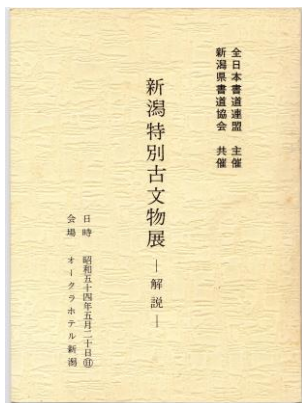
1977（昭和52）年

「行動する協会」を掲げ、参事・評議員の制度を取入れる
「市郡展作品集」を刊行し全会員に配付する（1978～1997）

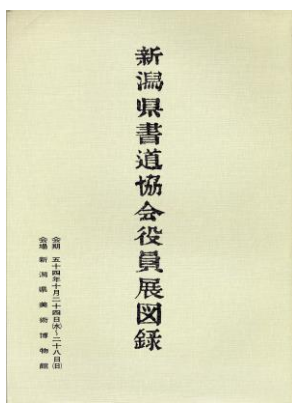


1979（昭和54）年

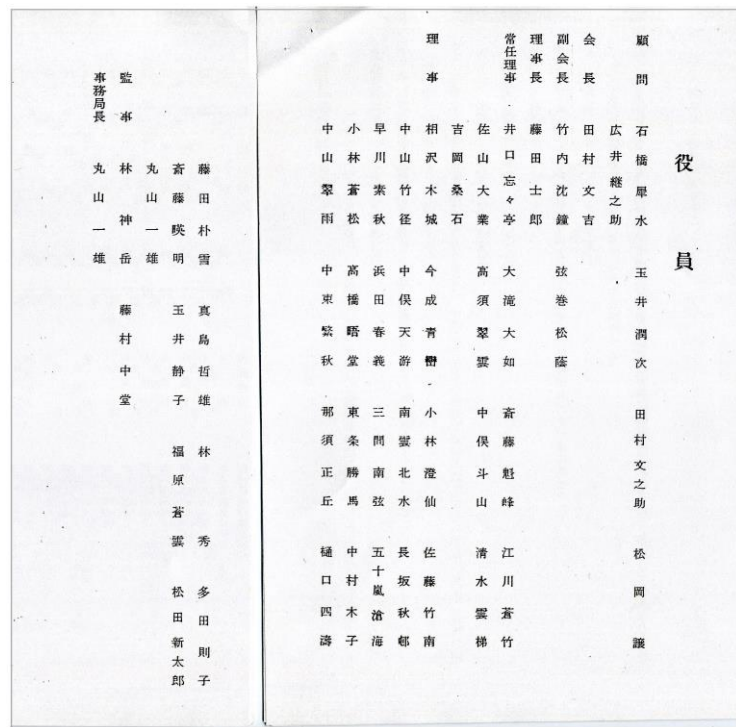
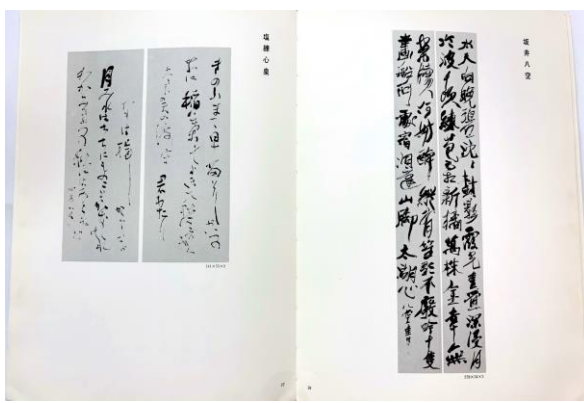
5月20日、全日本書道連盟と共催で「新潟特別古文物展」開催（講師：宇野雪村氏，梅舒適氏，駒井鷺静氏，加藤達成氏）
協会として初めてとなる書展「新潟県書道協会役員展」開催（10／24～28） 作品集刊行



新潟特別古文物展 目錄



新潟県書道協会秀作展 作品集



会員名簿（昭和33年）役員

1980（昭和55）年

新潟県書道協会秀作展（第1回）開催

秀作展は1982年の第3回まで開催される

「会報」第1号発行（9／20付）



会報 第1号

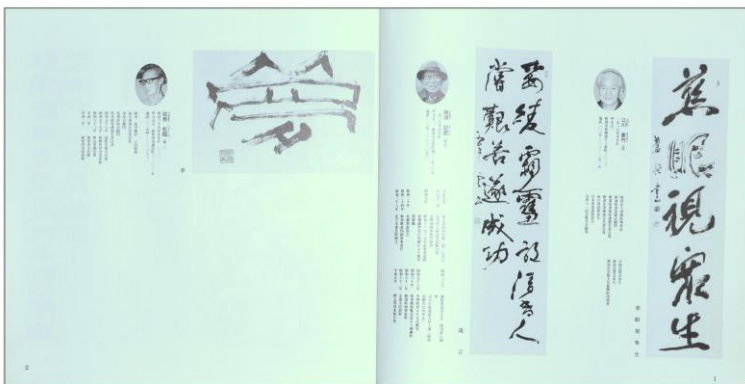
1983（昭和58）年

第1回会員展（7／20～24、出品点数232）開催



1994（平成6）年

第10回記念会員展「第10回記念作品集・名鑑」刊行



1996（平成8）年

会則一部改正、理事長・副理事長の役職が復活する
理事会が事業を推進し、その代表が理事長である
という組織構成が明確に示される

1998（平成10）年

事務局が長岡市（宝翰堂社内）から
新潟市（和田閑房事務局長宅）に移る

2000（平成12）年

第15回記念会員展

記念講演会「近現代の中国書道」（王 偉平氏）

2001（平成13）年

第16回会員展 併催「上海書法家協会選抜展」

対客揮毫

上書法家協会：王 偉平、錢 茂生、林 仲興、廉 亮

新潟県書道協会：江川蒼竹、野中吟雪、丸山翠蘭、伊藤省風



講演中の王偉平氏



2003（平成15）年

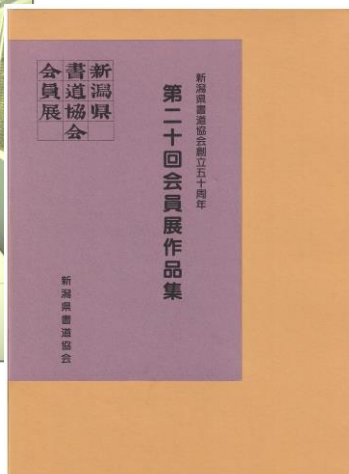
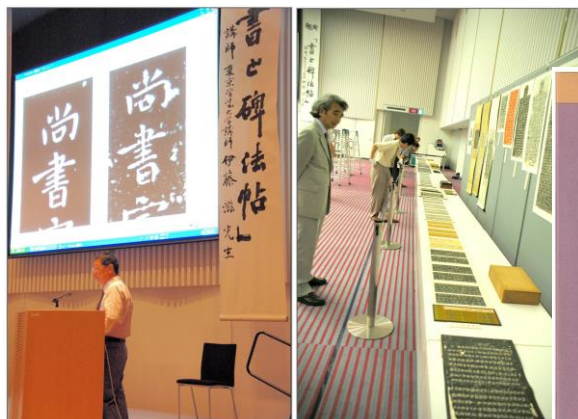
文化講演会「21世紀に書を学ぶ人に」（梅 舒適氏）



2005（平成17）年

第20回記念会員展

記念講演会「書と碑法帖」（伊藤 滋氏）



宝翰堂事務局で掲げられていた看板
(26×138cm)



事務局移転にともない看板を新調
(15×56cm)

2015（平成27）年

第30回記念会員展

記念講演会

「手紙の書を楽しむ」（増田 孝氏）



2020（令和2）年

新型コロナウイルス感染拡大防止のため

会員展等の事業が中止となる

「先人の書画調和誌上展」作品集を刊行

2021（令和3）年

会員小品展

新潟県民会館が改修工事による休館のため新潟市民芸術文化会館4階ギャラリーで開催



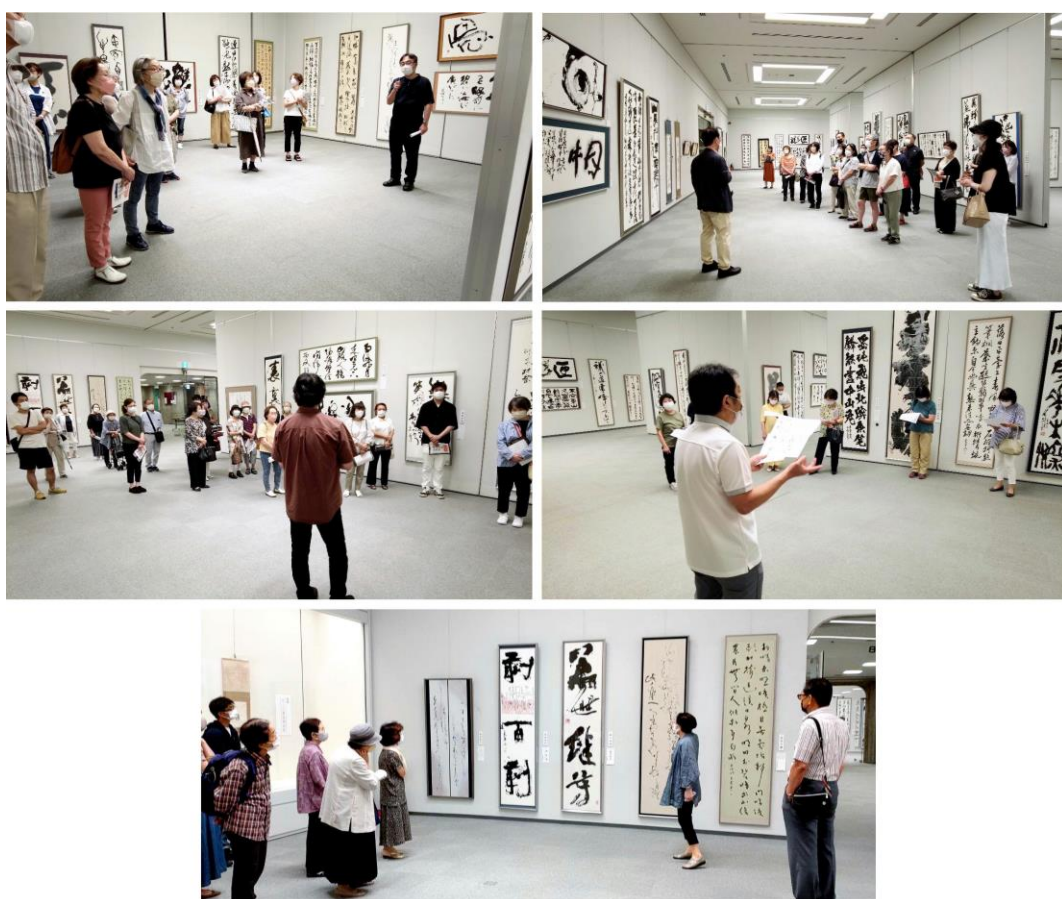
2022（令和4）年

第35回記念会員展

記念講演会

「前衛書の魅力と可能性」（宮村 弦氏）

作品を楽しむ会 開催（以後継続）



作品を楽しむ会

記録写真抄録



2002年 席上揮毫会



2004年 席上揮毫会

2007年 作品鑑賞会



2009年 作品鑑賞会



新潟県書道協会ホームページ
(トップページ)



新潟県書道協会ホームページ
(沿革のページ)



新潟県書道協会ホームページ
(講演会・研修会のページ)

歴 代 役 員

在任中

名誉会長	笠原 健一郎 (H29～R3)				
会 長	田 村 文 吉 (S32～S37)	小 川 清 一 郎 (S38～H2)	丸 山 一 雄 (H3～H9)		
	田 中 邦 正 (H10～H17)	笠原 健一郎 (H18～H28)	武 藤 克 己 (H29～)		
顧 問	石 橋 犀 水	玉 井 潤 次	田村 文之助	松 岡 讓	広井 継之助
	竹 内 臨 川	弦 卷 松 蔭	江 川 蒼 竹	高 須 翠 雲	中 俣 斗 山
	今 井 翠 雨	長 井 蒼 之	高 野 隆	小 黒 五 稜	吉 田 六 嶺
	田 中 一 燈	田 邊 玉 翠	小 林 畦 水	中 村 城 翠	和 田 閑 房
	相 澤 五 峰	加 藤 僖 一	佐 藤 光 堂	菅 井 柳 翠	長谷川 白楊
副 会 長	竹 内 臨 川	弦 卷 松 蔭	江 川 蒼 竹	今 井 翠 雨	長 井 蒼 之
	小 黒 五 稜	吉 田 六 嶺	田 中 一 燈	田 邊 玉 翠	小 林 畦 水
	田 中 信 泉	中 村 城 翠	相 澤 五 峰	野 中 吟 雪	長谷川 白楊
	今 井 昭 友	朝 平 霞 山	丘 山 三 槐	佐 藤 奎 玉	
理 事 長	藤 田 士 郎 (S32)	中 村 城 翠 (H8～H9)	野 中 吟 雪 (H10～H17)		
	長谷川 白楊 (H18～H21)	今 井 昭 友 (H22～H25)	丘 山 三 槐 (H26～H29)		
	朝 平 霞 山 (H30～R1)	樋 口 志 保 (R2～R3)	伊 藤 省 風 (R4～)		
事務局長	丸 山 一 雄 (S32～H2)	高 野 隆 (H3～H9)	和 田 閑 房 (H10～H17)		
	伊 藤 省 風 (H18～R2)	狩 野 芳 明 (R3～)			
展覧会事務局長	桑 山 戯 魚 (H28～R3)				

会 員 展 歴 代 実 行 委 員 長

第1回	長 井 蒼 之	第8回	中 村 城 翠	第24回	鈴 木 青 雨
第2回	長 井 蒼 之	第9回	今 井 翠 雨	第25回	永 井 素 香
第3回	坂 井 八 空	第10回	中 村 城 翠	第26回	山 田 壽 雲
第1回から第3回までは「会員展事務局長」の名称で実行委員長と会員展事務局を兼務するという任務内容であった。第4回からは書道協会事務局が会員展事務局を兼ねるようになる。		第11回	江 川 蒼 淵	第27回	朝 平 霞 山
		第12回	眞 田 景 風	第28回	立 川 井 梧
		第13回	今 井 昭 友	第29回	山 賀 光 雲
		第14回	高 波 琉 雪	第30回	佐 藤 奎 玉
		第15回	丘 山 三 槐	第31回	田 中 藍 堂
		第16回	伊 藤 省 風	第32回	樋 口 志 保
		第17回	早 川 大 斗	第33回	狩 野 芳 明
		第18回	川 口 夢 墨	第34回	堀 田 一 逕
		第19回	石 栗 翠 峰	小品展	樋 口 志 保
第4回	坂 井 清 風	第20回	長谷川 白楊	第35回	菅 井 松 雲
第5回	菅 井 柳 翠	第21回	菅 野 翠 濤	第36回	木 原 光 威
第6回	田 邊 玉 翠	第22回	内 藤 巖 泉	第37回	菊 田 竹 子
第7回	小 黒 五 稜	第23回	相 澤 五 峰	第38回	山 田 修 也

会 員 展 の 足 跡

第1回	1983(昭58)年	7. 20～ 7. 24 (233点)
第2回	1984(昭59)年	6. 27～ 7. 1 (212点)
第3回	1985(昭60)年	7. 9～ 7. 14 (245点)
第4回	1987(昭62)年	8. 20～ 8. 24 (237点)
第5回	1988(昭63)年	9. 14～ 9. 18 (232点)
第6回	1989(平 1)年	9. 14～ 9. 18 (232点)
第7回	1991(平 3)年	3. 27～ 3. 31 (244点)
第8回	1992(平 4)年	7. 15～ 7. 19 (276点)
第9回	1993(平 5)年	9. 29～ 10. 3 (303点)
第10回	1994(平 6)年	9. 7～ 9. 11 (423点)
第11回	1995(平 7)年	7. 26～ 7. 30 (340点)
第12回	1996(平 8)年	10. 9～10. 13 (354点)
第13回	1997(平 9)年	7. 24～ 7. 27 (325点)
第14回	1998(平10)年	9. 17～ 9. 19 (336点)
第15回	2000(平12)年	8. 29～ 9. 3 (405点) 記念講演会「近・現代の中国書道」(講師：王偉平氏)
第16回	2001(平13)年	7. 26～ 7. 29 (354点) 併催「上海書法家協会選抜展」／日中対客書会
第17回	2002(平14)年	7. 4～ 7. 7 (366点) 席上揮毫会
第18回	2003(平15)年	7. 31～ 8. 3 (360点) 文化講演会「21世紀の書を学ぶ人に」(講師：梅舒適氏)
第19回	2004(平16)年	9. 2～ 9. 5 (348点) 席上揮毫会
第20回	2005(平17)年	6. 23～ 6. 26 (425点) 記念講演会「書と碑法帖」(講師：伊藤滋氏)
第21回	2006(平18)年	7. 8～ 7. 12 (376点)
第22回	2007(平19)年	9. 20～ 9. 23 (340点) 作品鑑賞会
第23回	2008(平20)年	7. 18～ 7. 21 (355点) 併催「水滴・水盂展」／作品鑑賞会
第24回	2009(平21)年	7. 17～ 7. 20 (343点) 併催「矢立・筆筒・筆架展」／作品鑑賞会

第25回	2010(平22)年	6. 24～ 6. 27 (348点) 併催「印材の魅力展」 記念講演会「古民具から良寛まで」(講師：富澤信明氏)
第26回	2011(平23)年	7. 21～ 7. 24 (311点) 併催「端溪硯展」
第27回	2012(平24)年	7. 26～ 7. 29 (317点) 併催「唐硯展」(端溪硯を除く)
第28回	2013(平25)年	7. 19～ 7. 22 (318点) 併催「和硯展」／作品鑑賞会
第29回	2014(平26)年	7. 25～ 7. 28 (298点) 併催「和墨・唐墨展」／作品鑑賞会
第30回	2015(平27)年	7. 24～ 7. 28 (322点) 併催「先人の書簡展」 記念講演会「手紙の書を楽しむ」(講師：増田孝氏)
第31回	2016(平28)年	7. 29～ 8. 1 (296点) 併催「近代文化人の書展」(書家を除く)／席上揮毫会
第32回	2017(平29)年	7. 22～ 7. 25 (302点) 併催「近代文化人の書展」／席上揮毫会
第33回	2018(平30)年	7. 27～ 7. 30 (311点) 併催「近代の書家・書人展」／作品鑑賞会
第34回	2019(令 1)年	7. 26～ 7. 29 (294点) 併催「近世以前の書展」／作品鑑賞会
小品展	2021(令 3)年	8. 27～ 8. 30 (192点) ※新潟市民芸術文化会館4階ギャラリーで開催
第35回	2022(令 4)年	7. 22～ 7. 25 (257点) 併催「先人の書画調和展」／作品を楽しむ 記念講演会「前衛書の魅力と可能性」(講師：宮村弦)
第36回	2023(令 5)年	7. 21～ 7. 24 (233点) 併催「私に関わりのあった先人の書展」 席上揮毫会／作品を楽しむ会
第37回	2024(令 6)年	7. 5～ 7. 8 (235点) 併催「私に関わりのあった先人の書展」／席上揮毫会 作品を楽しむ会／イベント「臨書体験と拓本展示」
第38回	2025(令 7)年	7. 25～ 7. 28 (236点) 併催「戦後の書壇に影響を与えた書人展」 席上揮毫作品解説会／作品を楽しむ会 イベント「かな体ー古筆とともにー」